

回答者 : 町長

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>野沢での葬儀の際の「ジャランボ」は県内でやっているところはない。歴史を感じる。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)教育委員会</p> <p>通称ジャランボ、鑢鉞(にようばち)又は明鉢(みょうはち)ですが、僧侶や仏様が通るときに先導で鳴らす銅鑼(どら)です。</p> <p>仏式の葬儀で、出棺するときに打ち鳴らして、人々に出棺と通行を知らせますが、地域によって異なるようです。</p> <p>野沢地区では明鉢(みょうはち)を担当する人が通るときに香典を依頼する伝統がありますが、それぞれの地域において長い歴史の中で作られてきた風習であり、各地域に伝わる良い伝統文化については、今後とも大切にしたいものです。</p>
<p>ミネラル栽培について ミネラルの肥料代高いが売れているのか。また 土壌診断を受けている人は何人くらいいるか。 機械に費用が掛かるようだが、生ゴミを利用した 肥料作りをしてはどうか。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)経済振興課</p> <p>ミネラル栽培は、土壌診断に基づき、土のミネラルバランス等を整えるために足りない成分の資材を投入し、余分な成分は抑えるといった土づくりが基本となっております。</p> <p>健康な土づくりをすることで、農薬の散布を減らすことができ、品質の向上により取量も増えトータルの経費で比較すればメリットがあるという農家の声が聞かれます。生ゴミを使った堆肥作りについては、堆肥の確保は欠かすことのできないものと考えておりますので、民間の方の取り組みに対して町が支援できる部分については積極的に検討していきたいと考えております。</p>
<p>企業の農業参入 稲作りに力を入れ、会社的農業(法人化)し、若 者を募集してはどうか。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)経済振興課</p> <p>近年の米価下落傾向から、本町としては水稲依存農業から脱却し「稲作と施設野菜やキノコ等」との複合経営を図り、企業家として農業経営を確立することが重要であると考えております。本町でも若い農業後継者が複合経営や企業家的経営を実施していて、法人化を目指している農家もでてきております。一方、地域の農業振興を図るため、集落全体での話し合い・合意形成による「集落営農」の確立を推進しております。これらのことから、町ではこれら農業生産の法人化について、農協など関係団体と連携し、今まで以上に積極的に支援していく考えです。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>林業について            森林組合と町の共同経営の製材所を作り製材や加工材等を生産し販売する。民間に伐採を依頼すると持ち主には1円も入らず、逆に伐採代を支払わなければならないのが一般的になった。ホームセンターでは結構な値段で杭や板が販売されている。            現在町の森林は荒れ放題。現金収入があれば多くの人が助かる。            野沢には「杉の木覚」という先人の偉業があることを忘れてはいけない。            木材がある程度の高値で売れるなら、間伐や下草刈りの仕事の請負で働き場も増えることになる。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>首都圏への直売所の設置について            西会津産米は魚沼産よりうまいという人もいる。畑に放置され気味の野菜と一緒に東京の繁華街で日中は営業していない店舗の前などを借りて直売所を開設する。            搬送は宅急便会社と契約して行う</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>就労の場の確保について            若い人が働ける場所をつくってほしい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日            (担当課)経済振興課            企業誘致につきましては、様々な情報収集や情報発信を行っていくとともに、今後の景気の動向や企業の業績等を見極めながら、雇用人数の少ない企業であっても積極的な誘致活動に努め、町長自らのトップセールスも行って参る考えです。また、町内事業所等への就業の場確保についても町長が訪問し要請をするとともに、「雇用促進対策窓口」を通して町内事業所の現状把握に努め、各種支援策を検討して参ります。</p>
<p>ミネラル野菜スイーツについて            スンプラリーのときに食べたカボチャのパウンドケーキが油臭かった。バターの味がない。これからも買って食べたいとは思わなかった。大事なことだと思う</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日            (担当課)経済振興課            ご意見として承っております。ミネラル野菜スイーツはNPO法人西会津地域活動支援センターが町内菓子店やレストランとともに開発検討して出来上がりました。現在はそれぞれの菓子店舗や交流物産館「よっせ」(週末土日午前中)、会津若松市七日町通りの店舗でも食べることができ、徐々に広がってきており、多くの方から好評を得ているとのことです。</p>
<p>商店街の活性化について            西会津町の中心である野沢の中心街を活性化する方法を町全体で考えてもらいたい。マルトモやリオンビルに客足を取られている現状。            町内の有識者や小学生も加えた「野沢中心街活性化委員会」(報酬等なし)等を設置し、多くの意見を吸収できる仕組みづくりはどうか。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日            (担当課)経済振興課            年間36万人もの来場者がある「道の駅にしあいづ」から野沢地区商店街への誘客策を検討していきます。今後、さらに町商工会との連携を図りながら、イベントの開催はもとより、商業団地の整備や町並景観の整備等を通して商店街の活性化を図っていく考えであります。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>道の駅を中心とした魅力的なエリアづくり            ・商業団地のA区画は立派な施設でなくても良い(カラフルなテント等でも良い)ので、農産物や民芸品の直売所にする。            ・経営は個人(グループ)またはよりっせに委託。            ・「ミネラル」と「有機」は看板等により違いをアピールし、共存を図る。            ・高齢者等にとっては小遣い程度でも収入になれば励みになる。            ・施設が横一列に並べば、車窓から見たときのアピールは段違いに高まるのでは。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>道の駅を中心とした魅力的なエリアづくり            ・よりっせ内の販売品の陳列方法としてどこに何があるか一目で分かるように工夫する。            ・直売所に移せるものは移し店内に余裕を持たせる。            ・レストランが一番奥で存在感が薄い。建物に入った瞬間にどこにあるか分かるようにする。            ・アイスクリームや季節の食べ物(においのあるもの)を外の一角を使って販売すれば効果的であり、客の目にもつき、気楽に買い物ができるよ</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>道の駅を中心とした魅力的なエリアづくり            出光スタント脇のパチンコ店跡地を借りて、農産物加工施設をつくり、製品を道の駅をはじめ、スーパー、東京などへの販売網を開拓する。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>道の駅を中心とした魅力的なエリアづくり            A区画裏及び県道の歩道を利用し、フリーマーケットを開く。農産物以外の品々の販売交流により町民全体の販売エリアとする。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>宿場町の再現について  ・よりっせから「ふるさと自慢館」への誘導（表示・チラシ・アナウンス等による）  ・宿場や街道筋の賑わいの様子を小学生でも分かるようにジオラマ化。  関係資料作成やパネル、実物展示。  現在の自慢館のパネル展示版を野沢だけでなく町全体に広げた形でジオラマ化。  旅籠の部屋の様子を再現、もしくは、ふるさと自慢館そのものを旅籠風に。  柴田藩や村上藩の大名行列や宿泊の様子もジオラマで分かるようにしたい。  ・展示する施設は、新設するのではなく、自慢館との一体化が、貸してもらえる家を改造。  ・湖南町三代の宿のように、屋号を持っている家は、屋号を目立つように通りに面して取り付ける。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>観光について  西会津町は観光資源が豊富な町。観光協会を中心に全国に向けたPRを徹底し誘客を図ることが必要。  交通は観光バスでなくRのSLを利用させ、駅から徒歩で大久保との往復をさせる。その道路沿いには西会津の特産品を並べ、農家収入の増を図る。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日  (担当課)経済振興課</p> <p>先日、設立された西会津元気グリーンツーリズム協議会と連携し、町内にあります自然・史跡・名勝地などの観光資源を活用し、交流人口の拡大を図るとともに地域の活性化に結びつけていきたいと思っております。また現在も観光協会では春、秋に「SLばんえつ物語号」に乗り込んでのPRをしておりますが、今後もさらにSLのよりよい利活用策を検討して参ります。</p>
<p>観光(竜ヶ岳)について  これまでの観光振興施策は遅れていた。竜ヶ岳の道路整備計画等があるにも何年もそのままになっており反省がない。年間80名以上の登山客がある。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日  (担当課)経済振興課</p> <p>竜ヶ岳登山道につきましては今年度3箇所にクサリを設置しました。今後は観光資源としての整備の必要性を含め調査、検討して参ります。</p>
<p>観光について  町の名跡や景勝地の内容・行き方・所要時間などを分かりやすく記した観光マップ(パンフレット形式)で作成し、首都圏の観光業者に依頼したりよりっせや高速のPAに設置、ネットで流す。  初めて訪れた人も目的地に到着できるよう分岐点に案内板を設置。  ・ころゝ三観音や山の神様巡り等、関連観光地との連携。(パンフレットなどで案内しあう)</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>観光について 季節ごとの各種体験ツアーを公社が中心となり企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春～新緑の美しさを味わえる弥平四郎、オトメユリの咲く…、田植え・夏野菜の定植・山菜取り体験など</li> <li>・夏～溪流でのヤマメ・イワナつかみ、夏野菜の収穫・冬野菜の定植体験等</li> <li>・秋～紅葉を楽しむ山路散策、稲刈り・秋野菜収穫・アケビ、キノコ収穫体験等</li> <li>・冬～里山をかんじきで歩き、野ウサギや鳥の観察体験、雪降ろし・ふみだわらで道踏み体験等</li> </ul> <p>野菜などは市価より安価で販売する。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>観光について 歴史的体験を公社が中心となって企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦名に反逆し、逃れる大槻地頭逃避行体験</li> <li>・野沢宿からの越後街道を歩いてみよう体験</li> <li>・越後街道裏街道の奥川路を歩いてみよう体験</li> <li>・野沢宿から西方街道を柳津まで歩いてみよう体験</li> </ul>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>観光について 大山祇神社の本社の下まで車が入れるようにする。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>観光について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民宿を宿場町にちなんで「旅籠」と呼び、それぞれ屋号を掲げる。</li> <li>・自宅を民宿にするのに抵抗がある場合は、空き家を民泊施設として利用することも視野に入れる。その場合は管理経営者として寝泊りしても良いし、夜間は宿泊者のみに任せて経営者は自宅に帰っても良いこととする。</li> <li>・古い空き家は家主も経営者も利益があがるし、気心の知れた仲間と一緒にやれば心強い。</li> <li>・家は古ければ古いほど都会の人には喜んでもらえる。</li> <li>・料理は徹底して山菜や農産物中心のヘルシー田舎料理とし、たまに熊やたぬき料理を出す。</li> <li>・とにかく西会津の自然を満喫させ、夜は都会では味わえない田舎の味戸霧囲気に浸ってもらい、人と時間に追われる心を癒してもらう</li> <li>・お土産は地元から安価に購入した旬の野菜。</li> </ul>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>まちづくりについて 東京の大学にいる息子が地元に戻ってきたいと考えているが、就職と魅力あるまちづくりが問題。 過疎化、高齢化が進む中で、若者が地元に戻りたい、ずっと住みたいと思えるまちづくりが必要。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)まちづくり政策室</p> <p>働く場の確保は、町の最大の課題であります。ご提案いただいた内容については、今後も懸命に取り組んで参ります。</p>
<p>ふるさとまつりについて 来年度のふるさとまつりで林業コンクール(間伐や枝打ちなど)を実施してみてもどうか。ふるさとまつり以外のイベントでも良い。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)経済振興課</p> <p>ふるさとまつりでは、木で遊び森と親しむことを目的として木工教室を実施しています。内容は、木工クラフト、落ち葉を使ったしおりの作製、広葉樹のチップ材を使った幼児が遊べるプールの設置、のこぎりひき体験などで、森林、林業に触れ、理解を深められる事業となっています。今後は、ふるさとまつりにおけるこれらの事業を拡充していくとともに、ご提案のコンクールなどについても検討していきたいと考えております。</p>
<p>携帯電話について 事故等があると困るので、全機種つながるようにしてもらいたい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)町民情報課</p> <p>携帯電話が全機種つながるには、各携帯事業者がある程度の範囲に鉄塔を建てる必要があります。この鉄塔整備には、各事業者の経営戦略があり、利用者の少ない地方ではなかなか整備が進まない状況です。そのため本町においては、国の補助事業を導入して町が鉄塔を建て、事業者に貸与する方式で順次整備しており、今年度は4ヶ所が整備されます。本町は、光ケーブル網の整備により参入しやすい地域環境であることを強調して事業者に要望するとともに、国に対する要望活動も引き続き強力に行ってまいります。</p>
<p>健診について 町の健診について、若い人も、子宮がん検診だけでなく、一部有料でも良いので、乳がん検診も受けられるようにしてもらいたい。他市町村では受けられるところもある。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)健康福祉課</p> <p>乳がん検診は視触診だけを実施していた時期は、集団検診として30歳以上を対象に実施していましたが、平成16年度より国の指針で「マンモグラフィ検査」が義務付けられました。これは視触診だけでは発見できない早期の乳がんをレントゲン撮影で発見するためです。 その際国では、30歳代は女性ホルモンの関係により乳腺が発達していてマンモグラフィ検査を実施しても早期の乳がんが発見しにくいと、対象年齢を40歳以上に引き上げました。そのため町も40歳以上を対象に無料で実施しているところです。 現在町ではマンモグラフィによる検診の有効性が低いとされる30歳代の女性の方に対しては、月1回の自己検査を薦めています。 自己検査の方法等については、町の保健センターに問い合わせください。(47-2306)</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>敬老会招待者年齢の引き上げについて 現在の70歳は現役の家主であり、お頭であり、敬老会が唯一の楽しみだという人は少ない。 今年度招待した人はそのままにして、新たな招待者は75歳からとする町長の案が最善策であると思う。実現して欲しい。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>介護タクシーについて 主人が病気の時に、西会津町には介護タクシーが無いことを知り、大変困った。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)健康福祉課</p> <p>介護の必要な方が、気兼ねなく通院や外出ができる環境づくりは大切なことだと考えています。 介護タクシーは、車椅子やストレッチャーなどに乗ったまま利用できるように、車両にリフトやスロープ等を取り付けたタクシーで、運転手又は乗務員が介護福祉士やホームヘルパーの資格を持っていることが必要です。 現在、本町においては、そういった車両や運転手を備えた業者がないため、現在のところ実施することは出来ませんが、町内のタクシー会社等と実施に向け話し合いをしていきたいと思っておりますのでご理解願います。</p>
<p>診療所について 診療所の待ち時間が異常に長い。診療まではしょうがないとしても、会計までが異常な待ち時間で逆に体調を崩す。(いつも1時間半は待つ) 職員の増員やコンピューターでの会計など、財政に関わるが検討して欲しい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)健康福祉課</p> <p>診察が終わってから会計まで1時間半を越えてお待たせし、ご迷惑をおかけしております。 患者様をお待たせしないでお帰りいただくよう日々努力しておりますが、外来の人数や検査、薬を作る数によって時間がかかってしまいお待たせしております。 人員の配置を再検討するとともに、待ち時間の少ない院外処方も視野に入れ検討を重ね、患者様のご負担にならないよう改善し、地域医療の充実に努めてまいりますのでご理解をお願いいたします。</p>
<p>敬老祝金について 百歳100万円は廃止し、百歳の人は医療費を無料化にしてはどうか</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)健康福祉課</p> <p>百歳への特別敬老祝金100万円については、支給額を30万円とするとともに、百歳からも安心して生活できるよう医療及び生活支援として毎年16万円を支給します。</p>
<p>町民バスについて 車が無くて買い物ができるように、運行を増やしてほしい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)経済振興課</p> <p>町民バス利用者の方の利便性の向上を図るため、運行の形態、回数等の見直しを現在進めております。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>医療機関への交通手段について 町内に医療機関を新設するのは財政的に無理なので、診療所に行く無料バスを充実させる。 診療所がない科目は、送迎バスのある喜多方や若松の医療機関と連携し、運行時間の明示や増便を積極的に働きかけることで、車を持たない高齢者が安心して生活できる。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>町道整備について 役場裏からはるよし前に抜ける赤道の道路整備をお願いしたい。以前からお願いしている。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)地域整備課</p> <p>野沢町内は都市計画区域となっており、道路改良工事を実施する場合には最低4mの幅員確保が必要となります。本路線の起点には両側に建物が建っており、4mの幅員確保するにはこれら建物の移転が必要となります。これら建物移転・用地取得の同意は得ることができるでしょうか。 本路線は、延長160m程有ります。整備をするには3,000万円程度の費用が必要かと思われます。本事業を町単独事業で実施することは困難です。補助や過疎債をどうしても活用しなければなりません。そうした場合には規格に適合した整備が必要となります。 道路の拡幅は行わず、未舗装部分を現道舗装するのであれば早期整備が可能かと思います。</p>
<p>駅前通りの整備について 駅前通りの車道と歩道の段差が激しく、歩きにくい。また、夜は野沢で一番暗い。何年経っても改善されない。 県道とはいえ、町の人が毎日使う道路であり町の玄関口・顔といえる道路。1日も早い整備をお願いしたい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)地域整備課</p> <p>野沢駅通りの整備について 本道路は県道改築工事にて、車道・歩道を含めて全面改修される計画であり、最終的には高齢者にも配慮した安全安心の道路に生まれ変わることになっています。 平成16年度から工事は始まり、流雪溝の設置等の工事は完了していますが、現在は流雪溝の水を確保するため貯水槽工事を実施しているため、路面の工事は中断しています。 県も財政が厳しく工事費の確保がむずかしい状況にあると聞いていますが、早期整備が図られるよう要望してまいります。</p> <p>街路灯の整備について 以前野沢町内の街路灯整備を実施した際、野沢駅通りは改修計画があることから実施を見送りました。これは、改修によりまた移設工事が必要となるからです。県の改修工事が遅れており、街路灯の整備も送れていますが、県道工事にあわせてこれまで整備したのと同じ街路灯の整備を図る計画を立てています。</p>



ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>ゴミ収集場所について 粗大ゴミの収集場所に旧幼稚園も加えて欲しい。上原、原町には適所に設定して欲しい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 担当課)町民情報課</p> <p>適正にごみを処分することは、大切なことです。町では年3回日程を決めて粗大ごみを収集しています。(喜多方管内では本町だけです。)この収集場所については、原則として年1回はすべての集落に出向くことを基本としています。粗大ごみ収集についてはご承知のとおり、交通に支障の生じることなく大型車両数台が駐車できるスペースが必要となります。現地を調査しながら検討します。</p>
<p>ゴミ問題について ペットボトルキャップを集める活動をしてはどうか。 ポイ捨てが多い。いつでもゴミを捨てられる場所を設置したらどうか。(電池、雑誌、ビン、缶) 49号国道のポイ捨ての多い箇所には赤いゴミを設置すれば捨てられなくなるのでは。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 担当課)町民情報課</p> <p>資源の有効活用としては、よいアイデアと思います。実施に向けての課題もありますので検討していきます。ごみを簡単に捨てない(決められたルールに従う)という意識を、町民みんなが持つことがまず大切であり、これまでも啓蒙に努めてきたところですが、今後も一層の推進を図っていきます。どうしてもなくなるなどの場合は、将来的に仮称「ポイ捨て条例」などを制定して規制するなどの検討も必要かと思えます。</p>
<p>職員の対応について 生ゴミ処理機購入費の補助金が出るまでに1年4ヶ月を費やした。職員とは電話で3回、窓口で3回話したが、言い訳された。 他市町村にはすぐやる課などあるようだし、目安箱などの対策が必要。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 担当課)町民情報課</p> <p>平成18年度の「一般廃棄物減量化促進対策事業費補助金」のお支払いの件では、大変ご迷惑をおかけしました。ご意見のとおり内容からして即座に対応すべきものと考えます。事務体制などを含め、担当課に指示したところであり、効率的な事務執行に務めていきます。今後も町政に対するご意見、ご提案等については、本町民提案制度をご利用いただきますようお願いいたします。</p>
<p>窓口案内係の設置について 高齢者だけでなく一般の方も案内係がいればスムーズに用事を済ませられる。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>諸々の視察研修旅行について 各委員会などで行う研修旅行は必要不可欠なものなのか。役得の慰安旅行のように思えてくる。 これまでの慣例、予算消化のため、いくらかでも勉強になるなどの屁理屈は、長年にわたる委員を務めている方に多いようだ。 全廃は無理としても、任期初年度のみ実施、隔年での実施、経費の半額は参加者から徴収するなど、議員も含めて何らかの意識改革が必要では。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>基本計画まちづくり委員会の廃止 町長の独断的やり方であり速やかに廃止すべき。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)まちづくり政策室</p> <p>ご指摘をいただきました、基本計画まちづくり委員会」という名称の組織はございませんが、考えられる組織としては、下記のとおりですのでご理解をお願いします。</p> <p>1つ目として「西会津町まちづくり委員会」は、西会津町まちづくり基本条例」策定の任務を終え廃止されており現在は存在しない組織です。</p> <p>2つ目として「西会津町総合計画検討会議」は、総合計画が策定されれば、平成22年3月をもって終了する組織です。</p>
<p>職員の対応について 特に窓口業務の方について、役場に伺った際にじろじろ見るのではなく、用件を聞くなどの声掛けや帰るときはご苦労様でしたの一言が欲しい。</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)総務税政課</p> <p>ご指摘をいただきありがとうございます。</p> <p>職員の接遇に関するご意見ですが、「あいさつ」は人間関係の基礎となるものです。ご指摘のように決して“じろじろ”見ているつもりはありませんが、そのように感じないよう積極的に“あいさつ”“声かけ”を徹底して参りたいと思います。</p>
<p>町のアピールについて 商工観光課の新設に賛成。スタッフはできれば営業実績のある人が望ましい。 企画立案と営業を分割せず、スタッフ総力を上げて携わる。 宣伝の時代なので、ラジオ、ネット、チラシなど安価でできる情報提供を積極的に行わないと人は来ない。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>総合計画について 総合計画づくりのための町民懇談会の地区ごとの概要をさんかく通信で知らせて欲しい。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>
<p>好事魔多し」</p>	<p>(回答日)平成21年12月28日 (担当課)まちづくり政策室</p> <p>今後は、ご忠告を心に刻み町政を運営して参ります。</p>
<p>備品格納場所について 旧奥川中学校に格納してあった各団体行事(運動会、マラソン大会、交通会等)で使用するのぼりや看板等の備品を、中学校の撤去に伴い、現在は奥川支所の車庫にしまっているが、スペースがない。 各団体や行事の円滑な運営のため、奥川小学校の空きスペースに格納してはどうか。</p>	<p>回答の希望がありませんでした。</p>